

2025 年 9 月作成

フィンランド語上級講座①

「分詞構文（1）能動現在分詞」

関連する他の動画
「フィンランド語文法：上級⑤」

資料掲載サイト
「フィンランド語との対話」 [<https://yoshidakingo.com/>]

フィンランド語上級①：「分詞構文（1）」解説

Kuulin **Timon** **menevän** naimisiin.

私は Timo が結婚すると聞いた。

＊分詞の属格の形と、その主語に当たる名詞の属格の形が組み合わさったもの（**Timon menevän**）が文の目的語となる（ただし、否定文でも属格のまま）。このような表現を分詞構文と呼ぶことにする。分詞構文により *että*-節と同じ内容を表現できる。

Kuulin **Timon** **menevän** naimisiin.

= Kuulin, **että Timo menee** naimisiin.

＊*että*-節では、*että*「～だということ」の後ろに主語（Timo）と述語動詞＝定形動詞＝時制をもつ動詞（menee）が来る。

Tiedämme **suomen olevan** vaikea kieli.

我々はフィンランド語が難しい言語だと知っている。

Tiedämme **suomen olevan** vaikea kieli.

= Tiedämme, **että suomi on** vaikea kieli.

Lapset toivovat **sään muuttuvan** paremmaksi.

子どもたちは天候がよくなるよう願っている。

Lapset toivovat **sään muuttuvan** paremmaksi.

= Lapset toivovat, **että sää muuttuu** paremmaksi.

* 所有文や存在文の主語は属格にはならない。

Tiesin hänellä olevan vaimo.

私は彼に妻がいて知っていた。

Tiesin hänellä olevan vaimo.

= *Tiesin, että hänellä on vaimo.*

He arvioivat Suomessa olevan satoja yleisiä saunoja.

彼らはフィンランドには数百の公衆サウナがあると推定する。

He arvioivat Suomessa olevan satoja yleisiä saunoja.

= *He arvioivat, että Suomessa on satoja yleisiä saunoja.*

フィンランド語上級①：「分詞構文 (1)」テキスト

Putin väittää nyt Venäjän olemassaolon olevan uhattuna [...]

(<https://yle.fi/a/74-20025977>: 2023 年 4 月 8 日)

プーチンは | 主張する | 今 | 【ロシアの | 存在が | いると】 | 脅威にさらされて [...]

Medvedev väittää Suomen valmistautuvan sotaan ja on oikeassa, sanoo kokoomuksen Lindberg

(<https://www.hs.fi/politiikka/art-2000011481697.html>: 2025 年 9 月 9 日)

メドベージェフは | 主張する | 【フィンランドが | 準備していると】 | 戦争へ |
そして | である | 正しい | 、言う | (国民) 連合党の | Lindberg は。

Minulle Venäjän hyökkäys oli vedenjakaja: on aika ennen sitä ja sen jälkeen.
Kukaan ei uskonut Venäjän todella hyökkäävän, mutta se hyökkäsi.

(<https://yle.fi/a/74-20084635>: 2024 年 5 月 9 日)

「私にとって | ロシアの | 攻撃は | であった | 分水嶺 | : ある | 時代が
| [前に | それの] | そして | [その | 後に]。誰も | 信じなかった |
【ロシアが | 本当に | 攻撃すると】 | 、しかし | それは | 攻撃した。

Suomalaiset eivät luota Trumpin Yhdysvaltojen auttavan Eurooppaa.

(<https://yle.fi/uutiset/lyhyesti/74-20157539>: 2025 年 4 月 24 日)

フィンランド人たちは | 信頼していない | 【トランプの | 合衆国が | 助
けると】 | ヨーロッパを。

Reaaliaikaisen peilaamisen tarkoituksena on, että kun ihminen näkee omat tekemisensä kassalla, hän ajattelee jonkun muunkin näkevän ne.

(<https://www.hs.fi/helsinki/art-2000011392978.html>: 2025 年 7 月 29 日)

リアルタイムの | 鏡に映すことの | 目的として | ある |、《～だということが
| [～ときに | 見る | 自分の | していることを・自分の | レジで] |、
その人は | 考える | 【誰か | 他の人が・も | 見ていると】 | それらを》。

Sarja näyttää myös, ettei erityisyys ole mikään este, Peltola sanoo ja muistuttaa jokaisen erityislapsen olevan erilainen.

(<https://www.hs.fi/kulttuuri/art-2000010954773.html>: 2025 年 1 月 14 日)

シリーズは | 見せる | また | [ではないことを | 特別であることは |
である | 何も | 障壁] | 、Peltola は | 言う | そして | 指摘する | 【そ
れぞれの | 特別な子どもが | であることを】 | 異なっている。

Keskisarja totesi muun muassa ”suomalaisten pitojen muuttuvan kehitysmaalaiseksi sikalaksi ja verilöylyksi” [...]

(<https://www.hs.fi/politiikka/art-2000011464367.html>: 2025 年 9 月 1 日)

Keskisarja は | 指摘した | [他の | 中でも] | 【フィソッドの | パーティー
が | 変わると】 | 発展途上国的な | 豚小屋へ | そして | 虐殺へ」 [...]。

* この発言の前には次のように言っている。

Pidot eivät parane väkeä vaihtamalla – pikemminkin päinvastoin.

(<https://yle.fi/a/74-20179747>: 2025 年 8 月 28 日)

パーティーは | よくならない | 人口を替えることにより一むしろ | 逆だ。

これは väestönvaihtoteoria 「グレート・リプレイスメント（大置換）理論」に言及したものだが、これは salaliittoteoria 「陰謀論」。

＊一方、pidot については、次の諺がある。

Ei pidot parane, jos ei vieraat vähene.

「客が減らないとパーティーはよくなるらない」

＊Keskisarja さんは pidot 「パーティー」という言葉で「フィンランド社会」といったものを意図しているのだと思います。

Näimme tarkka-ampujien menevän katolle.

(<https://www.iltalehti.fi/ulkomaat/a/147c1e1e-6d4a-456e-ad3d-c17662f280d8>: 2025 年 2 月 4 日)

我々は見た | 【狙撃手たちが | 行くのを】 | 屋根の上へ。

Suomi kuulostaa räpättynä ranskalta tai espanjalta. En tiedä miksi. Kun kuulen ihmisten puhuvan suomea, niin ymmärrän, että se on suomea. Räpätty suomi on kuitenkin erilaista. Se on nopeaa ja tarttuvaa.

(<https://yle.fi/a/3-12312954>: 2022 年 2 月 12 日)

フィンランド語は | 聞こえる | ラップにされると | フランス語のように | あるいは | スペイン語のように。私はわからない | なぜか。[~ときに | 私が聞く | 【人々が | 話しているのを】 | フィンランド語を] |、そうなら | 私は理解する | [~だと | それは | である | フィンランド語]。ラップにされた | フィンランド語は | である | しかしながら | 異なるような。それは | である | 速い | そして | つかむような (?)。

* Sitä on helppo kuunnella ja biisi on myös tarttuva eli se jää mieleen heti.
それを | 簡単だ | 聞くのは | そして | 曲は | である | また | tarttuva
| つまり | それは | 残る | 心に | すぐに。

Asiantuntija arvioi Suomessa olevan 650 - 735 orjaa.

(<https://yle.fi/a/3-6866794>: 2013 年 10 月 5 日)

専門家は | 推定する | 【フィンランドに | いると】 | 650 から 735 人の
| 奴隷が。

Razik Hassan on nauttinut terassin kahvitarjonnasta, ja on huomannut
siellä käyvän paljon väkeä. (<https://www.hs.fi/helsinki/art-2000011312237.html>: 2025 年 6 月 19 日)

Razik Hassan は | 楽しんでいる | テラスの | コーヒー提供について | 、
そして | 気づいている | 【そこに | 訪れると】 | たくさん | 人々が。